

氏名	北島 拓真
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 7236 号
学位授与の日付	2025 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Nicotine dependence based on the Tobacco Dependence Screener among heated tobacco products users in Japan, 2022-2023: the JASTIS Study (2022-2023 年,日本における加熱式タバコ使用者の TDS に基づくニコチン依存症の検討: JASTIS 調査)
論文審査委員	教授 頼藤貴志 教授 高木 学 准教授 高尾総司

学位論文内容の要旨

加熱式タバコ (HTP) は日本で広く使用されているが、その使用に関連するニコチン依存症に関する研究は不十分である。本研究では、喫煙者のタイプとニコチン依存症の有病率との関連を検討した。タバコと健康に関する日本調査 (JASTIS) のデータを利用した。2022 年と 2023 年の調査回答者の中から、現在喫煙している 7,969 人を抽出し、分析を行った。ニコチン依存は、Tobacco Dependence Screener (TDS) で 5 点以上と定義した。ニコチン依存症の有病率は、喫煙者全体で 43.0% (3473 人/8077 人)、紙巻きたばこ使用者で 42.9% (1479 人/3447 人)、併用者で 44.2% (760 人/1720 人)、HTP 使用者で 43.0% (1206 人/2802 人) であった。ニコチン依存症の有病率は、併用者の方が紙巻きたばこ使用者よりも有意に高かった (オッズ比 [OR]、1.17; 95%信頼区間 [CI]、1.04-1.33)。温度別に分類すると、併用者 (高温と低温) および HTP 使用者 (高温) は、紙巻きたばこ使用者と比較して、ニコチン依存症の有病率が高かった (OR、1.31 [95%CI、1.14-1.51] および (OR、1.12 [95%CI、1.00-1.25])。さらにニコチン依存症の有病率は、1 日当たりの喫煙本数が多いほど増加した。これらの結果は、HTP の使用、特に高温の HTP の使用と喫煙本数の多さがニコチン依存症と関連していることを示唆している。

論文審査結果の要旨

加熱式タバコ (HTP) とニコチン依存症の関連に関する研究は不十分である。本研究では、喫煙者のタイプとニコチン依存症との関連を検討した。タバコと健康に関する日本調査のデータを利用した。2022 年と 2023 年の調査回答者の中から、現在喫煙している 7,969 人を抽出し、分析を行った。ニコチン依存症の有病割合は、紙巻きたばこ HTP の併用者の方が紙巻きたばこ使用者よりも有意に高かった。温度別に分類すると、併用者 (高温と低温) および HTP 使用者 (高温) は、紙巻きたばこ使用者と比較して、ニコチン依存症の有病割合が高かった。

委員からは、対象者の選択法、TDS の定義、オンライン調査の利点・欠点、逆因果の可能性、倫理審査など質問をされたが、具体的に回答した。

本研究は、HTP 使用、特に高温の HTP の使用とニコチン依存症について、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。